

# 21

## メディアと文化の発展

インターネットの発達により可能となった情報発信は、社会にどのような変化を引き起こしているのでしょうか。

- 1 インターネットによるデジタルデータの流通
- 2 非同期メディアから同期メディアへ
- 3 集団による知識の創造
- 4 誰でも表現者・発信者の時代

# インターネットによるデジタルデータの流通

## インターネット

1960年代にアメリカの国防ネットワークの一環として研究開発

1991年にWWWが公開

当初は一部の専門家や組織だけがWebサイトを開設

ほかの利用者は公開されたページを閲覧するだけ

→マスメディアに近い一方通行型のメディア

## 電子掲示板やチャット

利用者がWeb サイト上に意見を書き込む仕組みが普及

オンラインでコミュニケーションをとる文化が定着

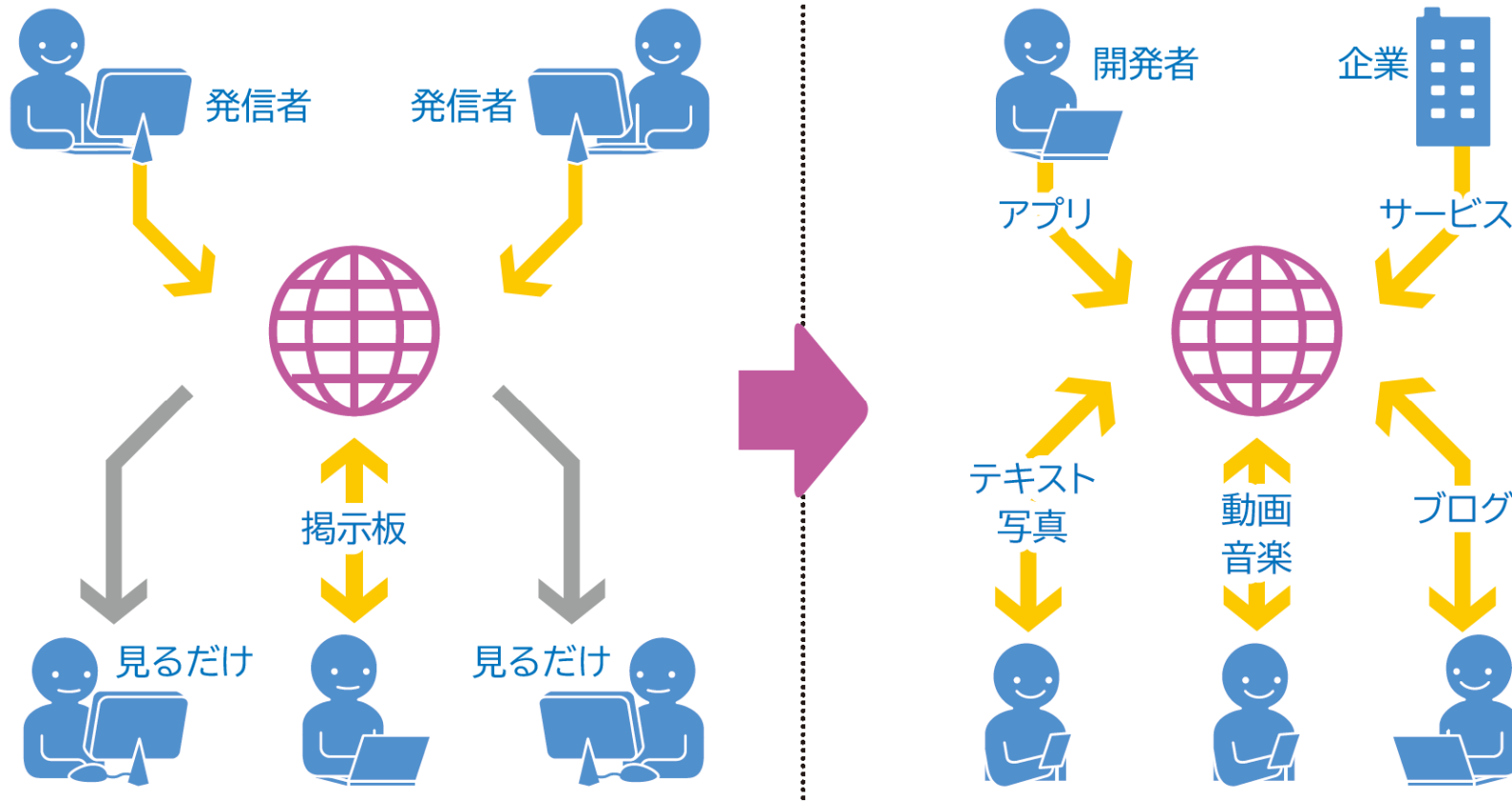
## ソーシャルメディア

2005年頃 ブログやSNS, 映像の投稿サイトなど

Webを通して誰でも簡単に情報発信できる仕組みが確立

# I

## インターネットによるデジタルデータの流通



▲図1 一方通行型から双方向型のメディアへ

## 2 非同期メディアから同期メディアへ

### ブロードバンド回線が普及

高速・大容量通信

文字をリアルタイムに送受信するツイッター

映像のストリーミング配信サービスなど

### 同期と非同期のメディア

同期メディア：情報を送信するタイミングと受け手が閲覧するタイミングがほぼ同時

非同期メディア：同期メディア以外のもの

アナログもデジタルも同期と非同期のメディアが混在

コミュニケーションの目的に応じて使い分ける時代



## MEMO

昔のメディア

電話は同期，手紙は非同期

デジタルのメディア

使い方によって同期的にも非同期的にも利用できる

## 2 非同期メディアから同期メディアへ

### ▲図2 同期メディア

使い方によって非同期的な利用もできる。



## 3 集団による知識の創造

### これまでの知識のあり方

数少ない専門家や権威者が生み出す

紙の百科事典や新聞などのマスメディアで高い信頼

### インターネット時代の知識のあり方

誰もが編集に加わることができるオンライン百科事典

消費者による商品情報や店舗情報を集めたクチコミサイト

利用者どうしで質問と回答を投稿し合うQ&Aサイト

紙媒体にはない細かい情報

情報を調べるきっかけとして多くの人が利用

集合知

多人数の知識を蓄積して活用可能にしたもの

# 3 集団による知識の創造



ウィキペディア  
オンライン百科事典 (Wikipedia)



クチコミサイト



Q & A サイト

## ▲ 図3 インターネットによる集合知



## 4 誰でも表現者・発信者の時代

### 音声・画像や映像の編集・伝送

コンピュータやスマートフォンの小型化・高性能化

通信回線の高速化

→誰でも取り扱えるように

個人の写真・動画や、3D・CG作品などを投稿

相互にコメントや評価

### UGC

一般ユーザーによって作られたコンテンツ(User Generated Contents)

これまで情報の消費者であった人々がWeb技術で情報の生産者に

4

# 誰でも表現者・発信者の時代

人が持つ「表現したい」という  
要望がインターネットによって  
実現できるようになったといえ  
ます



## 問題

UGCは、企業によって作られたコンテンツとは異なる形で流通している。関連する次のキーワードを検索して、その違いを調べなさい。

キーワード

メディアミックス, 歌声合成ソフトウェア, 二次創作

## 問題

UGCは、企業によって作られたコンテンツとは異なる形で流通している。関連する次のキーワードを検索して、その違いを調べなさい。

### キーワード

メディアミックス， 歌声合成ソフトウェア， 二次創作

(例) 企業によって作られたコンテンツと異なり，UGCは動画投稿サイトや即売会などにより，ユーザからユーザへ流通する。また，小説サイトの作品の書籍化や，漫画やライトノベルのアニメーション化・映画化など，メディアミックスの傾向もある。

## 4 誰でも表現者・発信者の時代

▲図4 歌声合成ソフトウェアの  
パッケージキャラクター  
協働創作のムーブメントの  
きっかけとなった。



## まとめ

- ▶ インターネットの発展で，誰もが情報の表現者・発信者に。
- ▶ さまざまな人によるさまざまな流通経路の情報が混在する時代に。
- ▶ 特性を理解し，うまく活用すれば，活躍の舞台にもなる。

# 22

## ネットコミュニケーションの特徴

インターネットを用いたコミュニケーションは、どのような特徴を持つのだろうか。

- 1 匿名性
- 2 記録性
- 3 記録の活用性
- 4 情報の偏りと隠された意図

# 匿名性

## 匿名性

氏名や所属など個人の特定につながる情報を隠すこと  
インターネットのコミュニケーションでは匿名性が確保されている

## 実名を出すこと，出さないこと

必要性と危険性を比較して，慎重に判断が必要  
学校などで使用するコミュニケーションツールで，実名での登録を  
推奨される場合  
→公開範囲や検索可否などの設定に注意



# 匿名性

▼表1 実名と匿名のメリットとデメリット

	メリット	デメリット
実名	発信する情報に責任を持つことができる。興味・関心が近い人と深い交流ができる。	ストーカー犯罪や誹謗中傷などに巻き込まれる可能性がある。
匿名	立場にとらわれず、自由に発言することができる。不正の内部告発を行える。	不確かな情報の発信や拡散が問題となることがある。

## 2 記録性

インターネットでの情報発信は、常に記録が残る

### プロバイダ責任制限法

インターネットで誹謗中傷や著作権侵害などの被害に遭ったとき  
プロバイダに情報発信者の情報の開示を請求することができる

インターネットでの情報の発信元はIPアドレスから突き止められる

### インターネットに公開された情報

簡単に蓄積，複製される→完全に消去することは難しい

軽い気持ちで書き込んだ冗談や掲載した写真→後々までトラブルに

## 2 記録性

```
192.168.1.1 - - [01/01/2017:12:18:30 +0900 "GET /img/abc.jpg HTTP/1.1"  
192.168.1.1 - - [01/01/2017:12:21:07 +0900 "GET /img/xyz.jpg HTTP/1.1"  
:  
:
```

### ▲図1 ログの例

学校内からであっても、使ったコンピュータが分かるIPアドレスとWebページの場所、年月日時分秒、どの画像を読み込んだかなどの記録が残っている。つまり、どのようなWebページを見ていたかが分かってしまう。



## MEMO

### 携帯電話の位置情報

携帯電話は電源が入っている限り，近くの基地局と微弱電波を交換している。

この情報により携帯電話の持ち主の現在地はもちろん，移動経路を突き止めることも可能であり，犯罪捜査などで活用されている。

## 3 記録の活用性

Webサイトを閲覧した履歴の蓄積→広告サービスに活用  
検索エンジンでキーワード検索→関連する広告が表示  
これまでの購入・閲覧した商品  
→その人が興味を持ちそうな商品が表示

個人情報とサービスの利便性はトレードオフ  
履歴情報はむやみに利用されるべきではない  
広告収入によって運営されている無料サイトも多い

## 4 情報の偏りと隠された意図

### サイバーカスケード

自然と自分に都合のよい情報ばかりに目を向ける  
同じ意見を持つ人どうしが強く結びついて排他的な傾向を持つ  
デマやフェイクニュースが拡散する要因  
炎上やヘイトスピーチの温床として社会問題化

選挙や政治にも影響

→日本ではネット選挙運動の解禁に伴い課題に

## 4 情報の偏りと隠された意図

人の発言には多様な背景

一見公平のように思える発言がポジショントーク  
商品のおすすめ記事がステルスマーケティング  
→常に批判的な目で読み解く

## 4 情報の偏りと隠された意図



これらの情報から  
誤った結論を導かない  
ようにするための  
知性や倫理観が求め  
られます





## 問題

2020年，新型コロナウイルス感染拡大の際に，インターネットがよい方向と悪い方向に機能した点を調べなさい。

## 問題

2020年，新型コロナウイルス感染拡大の際に，インターネットがよい方向と悪い方向に機能した点を調べなさい。

よい方向：テレビ会議や動画配信などを利用して，在宅のまま授業や勤務を行うことができた。

悪い方向：ウイルスの発生源や治療方法，感染者の身元などについて，フェイクニュースやデマが発生した。



## MEMO

フェイクニュース拡散の防止策の1つにファクトチェックがある。これは、情報の真偽を検証するものであり、ファクトチェッカーとよばれる専門家が行った検証結果は、専門サイトで見る事ができる。

## COLUMN マスメディアとソーシャルメディア

事件の現場を偶然通った人が様子を撮影

→ツイッターに投稿

→テレビ局の目に留まってニュース番組で利用される

マスメディアとソーシャルメディアの間で情報が行き来

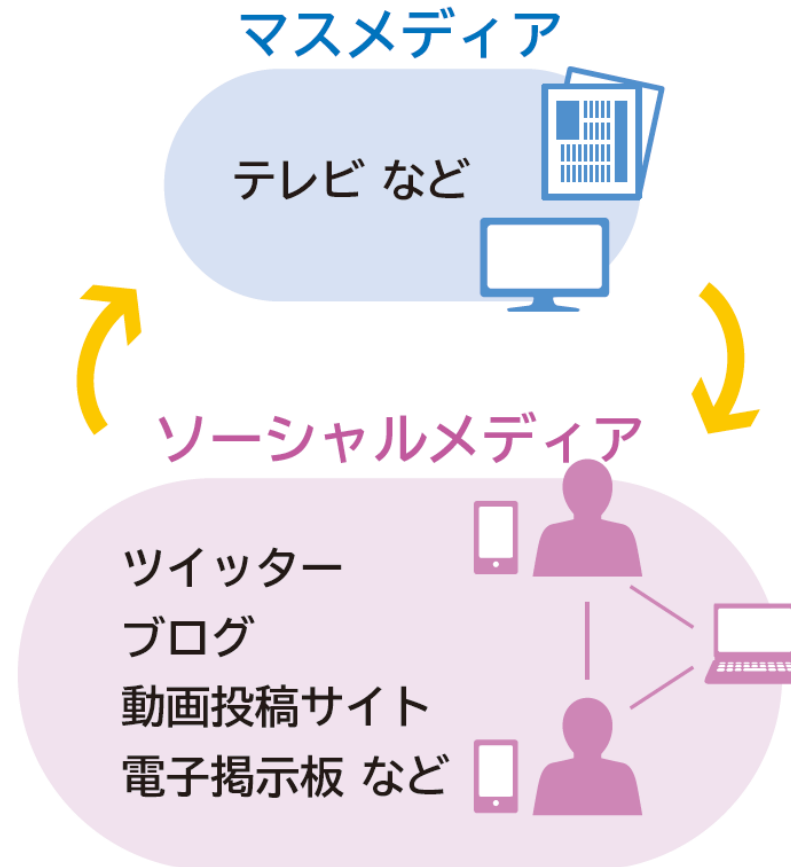
ソーシャルメディアに流れたデマ

→マスメディアが信じてテレビで放送

→謝罪に至る

マスメディアの信頼性が揺らぐ事態も発生

# COLUMN マスメディアとソーシャルメディア



## まとめ

- ▶ 常に批判的な視点を持ち，さまざまな場面で自分で判断できるようにする必要性。
  - ・ 匿名か，実名か
  - ・ 記録の活用を許可するか，拒否するか
  - ・ 拡散すべきか，拡散しないべきか